

全国2例目
西日本初！

「ボランティア活動推進に関する協定」を締結しました

●問合せ 企画政策課

本市は、5月14日に公益財団法人日本財団ボランティアセンター（東京都港区）と「ボランティア活動推進に関する協定」を締結しました。

●目的

ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、本市と日本財団ボランティアセンターが相互に協力・連携を行い、市民サービスの向上と地域の成長・発展に寄与することを目的としています。

●連携事項

- (1) ボランティア活動や社会貢献活動に対する支援活動
- (2) ボランティア活動や社会貢献活動における広報活動
- (3) ボランティア活動や社会貢献活動に関する教育活動
- (4) 災害等の緊急事態やイベントにおけるボランティア派遣
- (5) その他、双方が必要と認めたボランティア活動支援に関する事項

また、本協定に関連する取り組みの一環として、日本財団ボランティアセンター主催のボランティアについて学ぶ特別授業「ボ学（ぼがく）」が松原市立中央小学校で同日開催されました。

今回の「ボ学」のテーマは「防災」。講師から災害ボランティアの体験談などについてお話をしていただき、児童の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

災害に対する知識やボランティアの心構え、ボランティアはまず「したい」という気持ちをもって身近なささいなことから始めてみればよいということを教わりました。



▲協定締結式の様子



▲「ボ学」の様子



高校生10人がオーストラリアで国際交流



3月23日から29日までの7日間、本市在住の高校生10人がオーストラリアのムーニーバレー市に渡航しました。

今回は、5年ぶりのオーストラリア渡航ということもあり、129人の応募者の中から公開抽選で選ばれた10人が事業に参加しました。

初めての海外、初めての飛行機といったメンバーもいましたが、現地では積極的に英語での会話や、現地のトラムやバスの乗車といった初めての経験をたくさんすることができました。そして、在メルボルン総領事へ表敬や、ムーニーバレー市議会の見学と傍聴、市内図書館や美術館の訪問、海外で活躍する日系企業としてオーストラリアヤクルトの視察など、またとない体験をしました。今回はグローバルに活躍する皆さんの話を聴くことが多く、将来について考えることも多い参加者にとって非常に良い刺激となりました。今後も本市の将来を担う国際感覚豊かな若者の育成に向け、国際交流事業を展開していきます。

●問合せ 市民協働課



▲ムーニーバレー市議会見学の様子



▲在メルボルン総領事表敬の様子

～報告パネル展を実施します～

今回の渡航で体験したことを写真や動画、文章で参加した高校生から報告を行う報告パネル展を実施します。

- とき 6月10日(月)～14日(金)午後5時まで
- ところ 市役所市民ロビー

